京城新報

●新聞料 ▲一ヶ月前金 ●廣告料 ●陰暦 五月十九日
發行編輯兼印刷人 秋山忠三郎
京城西大門通
發行所 京城新報社 電話六六三番

追想す花房公使(一)

翠山生

▲首を廻らせば今より丁度廿餘年前彼の壬午の亂に當つて危くも一命を免れ濟物浦頭一艘の英船に身を托して一先故國長崎に難を避けた彼れ花房公使の韓國に於ける有名なる事蹟は言ふ迄もなく世人の疾くに熟知して居る所である、而も予輩が爰に事更らに當年の彼れを捉らへ來りて讀者諸君の清讀を煩はさんとするは唯單に彼れが往時に於ける事蹟を繰り返へすにあらずして其の間短からぬ時の經過に依りて今日の如く變遷推移せし韓國の現狀に鑑み彼を思ひ是を想ひて轉た悵然として感慨の念に堪へぬからである、のみならず之が半島開發の大任を負ふ當該官府の官吏等が朝に花に戯れ夕に月に憧がるゝ醜態淫行の滔々として風を爲す昨今に於ては強ち當年に於ける彼れが臥薪嘗膽の事蹟を繰り返へすも決して無稽の業ではない却て一種の刺激劑ともならうと思ふので、

▲花房義質……彼れは現今宮內次官である衣冠束帶棣然として身は之れ靜かに優婉閑雅の清職に耽つて居る、老後の躯軀往年國事に周旋せし身の之が閑雅なる清職を厚うするは固より其の所でもあらうが今更ながら顧みて彼れが當年の關係と膽略とに思ひ及べば概然として不覺眉揚り腕鳴るの感を禁じ得ない、而も時は昨冬十一月我が東宮殿下に陪從して韓國に渡られし際彼れの俤を面のあたり目擊せし者は恐らく當年の彼れを追想して轉た今昔の感に堪へぬものがあつたらうと思ふ、呼々春風秋雨二十餘年變れば變る世故の變遷は爰に唯一個清楚たる陪從員としての彼れを見るに過ぎなかつた、

▲閑話休題日本國が韓國に始めて公使館を設置したのは世人も先刻承知であらうが明治十三年である、而して之が辨理公使は取りも直さず彼れ花房義質であつた、所で韓國當時の國情は總ての點に於て更らに其の基礎が固まらず加へて彼の紛紜に紛紜を重ねて居つた淸韓宗屬問題は日を經るに從つてます〳〵面倒になり行く一方であるから我國に於ても之が解決上の苦心には少なからず頭を惱ました所で時の狀況が所謂危機であるから從つて公使としての責任はなか〳〵輕くはない、罷り間違へば其の土手ツ腹へ持つて行つて大きな隧道を開けらるゝか、サモなくば腕の一本も切り落されぬとも豫め保し難ない、

▲サテ彼れは賦性果敢而も事に當つて凜然犯すべからざるの猛氣があるから却て此の風か雨か果た雪かの風雲を歡迎し一番乃公の手腕にて快刀亂麻を斷つの腕際を見せ吳れんずとの雄大なる意氣組であつたされど例の淸韓宗屬問題は依然として解決せられず、いづれは日淸の衝突が半島の天地に於て開始さるゝを免れぬ場合となつた、其中時を重ね日を積むに從つて風雲はます〳〵急に危機一髮の間に迫つて來たが果せる哉明治十五年之が衝突の序幕として彼の壬午の變が持ち上つたのである(つゞく)

●五月中の金融狀況

(京城日本人商業會議所調)

當月に於ける金融は前月來引續き澁滯の狀を改めず最近母國に於ける預金の增加國庫債券の一部償還大藏證券の減少輸出品荷捌等の結果幾分緩和の氣味なきにあらずと雖も未だ當地の金融界に及ぼす程の影響なし亦た昨年來築徒其他各方面の反動を受けたる京城財界の頽勢は急に恢復すべくもあらず銀行家は回收確實なる商業資金に對しては可成貸出しを成すの方針なるが如きも回收確實なる用途は至て少なく亦た豫算不足の有樣にて各官衙とも豫想したるが如き建築工事の着手を見ず其他新に著しき資金の需用起らず金融市場は概して警戒と眠合の姿なり今五月中に於ける日韓人側に區別し預金及貸金統計を掲ぐれば左の如し

●日本人側三銀行

	預金	貸金
四月	七、一九七、一三〇	二、九七三、三五五
五月	六、七〇七、五四一	三、〇三五、六七七
增減(△は減)	△四八九、五八九	六二、三二二

●韓人側四銀行

	預金	貸金
四月	一三三、〇四一	一、二五九、五八八
五月	[illegible]	一、一三六、六六八
增減(△は減)	△一七、七七八	△一二二、九二〇

右表によれば前月に比し日本人側三銀行に於ける預金四拾餘萬圓の減少及び貸金六萬餘圓の增加は何れも韓國政府及び諸官衙の公金預金又は貸上金にして民間の金融に關係なきが如し又韓人側四銀行に於ける預金に於ては前月に比し一萬七千餘圓貸金に於て拾貳萬餘圓の減少を見たるも是れ亦た一般民間の金融に付ては大なる關係を有せざるが如し而て該貸金の減少したるは各銀行警戒の結果と一面返濟期に及び回收の結果に外ならざるべし

●韓國棉花會社當期決算

當社本季決算は左の通り決定し來る二十七日大阪ホテルに開催すべき株主總會に提出して其承認を求むる筈因に記す韓國に於ける改良種棉花栽培事業は未だ著しき發展を見るに至らざるも着々其歩武を進めつゝあり韓國政府は本年棉花栽培所なる特立の官衙を設置し佐藤統監府技師新たに所長に任ぜられ大に採種圃の擴張を圖る筈なれば次年度の棉花改良事業は更に一段の進境を見るべしと

▲當期總益金二萬九千六百七十三圓廿五錢▲當期總損金二萬八千七百五十四圓八十錢七厘▲當期純益金九百十八圓四十四錢三厘▲當期缺損償却八百六十七圓九十二錢六厘▲後期繰越金五十圓五十一錢七厘

浮世ぐさ

●郵便切手の始

日本最初の發行にかゝる郵便切手の帝國博物館に備へ付あるを一覽するに明治四年三月一日より發行せし分は

錢四十八文　摸様煤色文字黑
錢百　文　同　靑色同　黑
錢二百　文　同　紺色同　黑
錢五百　文　同　水色同　黑

次に翌五年二月より發行せし分は

半錢　摸様煤色　文字黑
一錢　同　水色　同　黑
二錢　同　赤色　同　黑
五錢　同　水色　同　黑

次に又同年七月二十日より發行せし分は

一錢　同　水色　(始て洋字入る)
二錢　同　紅色　同文字黑

先づ以上三回に發行せしが古き分なり

●繪葉書恭賀新年の始

はがきに「恭賀新年」の四字を書きて新年賀正の續に代ふるに至りしは明治十四五年以後追々流行し來りたるものなり念の爲め次の詩を掲げて證となすべし

癸未新年　堀越修一郎
亂書堆裡又迎年　亦是天恩容懶仙
不用飛箋呈賀意　新聞紙上寫詩傳

癸未新年　上夢香
門前松竹靜風煙　不見拜年來往頻
舊俗過煩今過簡　幾家飛帖賀新春

●紀念切手の始

遞信省にて紀念郵券を發行したるは明治二十七年三月聖上銀婚式の祝典に際し横長大形二錢(紅色)五錢(青色)の二種を發行せしを始めとす

●看護婦の始

我國に始めて看護婦なるもの〻起りしは明治十九年中陸軍部内に看護婦の必要を感じ今の赤十字社病院長橋本綱常と陸軍々醫總督足立寛氏との設計に依つて之が養成の設備成りつゞいて二十年には萬國赤十字社に加盟して看護婦養成法は益々其の盛を呈し來れるに至れり

小說 新不如歸(三十八)

篠原嶺葉著

「所が彼の足柄と云ふ男は、金子を取る位の事は何とも思ふて居ないです、自分が密告爲やうと思へば白い物を黑いとでも言ひかねん男ですから、金子は假令取つて居つたからが、取つたやうな顏は爲ないです、實に軍人の風上にも置けない佞奸な奴ですからね。」

云へば槇子はまだ腑に落ちぬか、

「いくら佞奸だつて、滿更知らない間ぢやなし、殊に口外爲ないと云つて堅く誓をした人だから豈夫と思はれるが、それとも何かれ前に深い恨みでもあるのか知らん。」

「恨と云ふ程でもないですが、士官學校時代から初終中間が惡かつたですが、這度の一件はそればかりぢやないと思ひます必然百合子の縁談だらうと思ふです。」

母は言葉を遮ぎるやうに、

「だつて、それは無理だわ、もう婚禮の日まで極つてからだもの……。」

「いくら無理でも、那麼ことを無理と思ふやうな男ぢやありません、理が非でも自分の我を通さうと云ふ沒了漢ですから、必然縁談を斷つたを根にもつて密告したに相違ないと思ふです、でなけりや僞うも偶然に休職になる道理がないのですからね。」

母はやゝ信じた如く、

「然う云へば然うかも知れないね、此間も云つた通り、足柄の方ではお前の秘密を探つてるから、甚麼無理でも承知すると思つて貰ひに來たに相違ないからね、それを此方で斷つたもんだから、怒つて密告したかも知れない、だけれども若も此間の一件を密告したのなら迚も休職位なことでは濟むまいと思ふが、お前は何と思ひだね。」

「それもです、それも道々考へて歸つたです、休職にして置て、後から處罰する氣かも知れないとも思はれますが、或は又他國へ對しての恥辱ですから、これきりにするかも知れないとも思ふです、若しも軍法に照して處分するなら、無論一命は無ですから休職なんと云ふ優しい事をせずに官職を剝奪するに相違ないです、此邊から考へると軍法に照らす程の處分は爲ないかとも思ふです、萬が一休職だけの處分で濟むやうな事があれば、それは與個父上のお蔭です、今の陸軍部内には父上の無二の親友が多いのですから父上に對する情義上寛大の處置を爲て下れたんでせう。僞う云ふ事情ですから、內地に居れば甚麼憂目に逢ふか知れんです私は自分が犯した罪ですから致方がないとしましても貴方方にまで御氣の毒をかけるやうになりますから、奈何成行くか成行の分るまで、一二年の間朝鮮から支那を廻つて來やうと思ふです、どうぞ重ね〳〵御厄介をかけて相濟みませんが、留守中を何分宜しくお願ひ申します。」

如何に大罪を犯せばとて、明子の情は又格別にして、槇子は漫に涙を浮しながら、

「飛んだ事になつて來ましたね、全然で夢でも見てるやうな氣が爲ます、しかし僞うなつた上は何程泣いても致方ありません、後の所は濟さんと兩人で奈何にか留守をしてるから、お前は一日も早く出發して下さい、ひよツと軍法會議にでも引かれるやうな事でもあると、生てる心地は爲ないから、なんぼう悲しくてもまだ、無事で外國に居て下れる方が、甚麼に嬉しいか知れやしない。」



京城新報

軍部學部を廢すべし

韓國は由來何事も形式に流るゝの弊深く浸潤し、其弊害は總ての事に波及せり、之を打破するに非ずんば革新の業得て望む可らず、韓國の現程度よりすれば中央政治の機關は內部度支部の二省を以て足れり、然るに文明國と同樣に名目丈けは顯然として備り、景福宮前兩側に各省甍を列ねて一見機關の完備せるが如く裝へり、我保護統治以來多少面目を革めたるも、其以前に於ては各省構內は雜草を以て埋り、館內四五の官吏悠然として長烟管に煙草を燻らしつゝ人民に接せり、今や多少面目を革めたりと雖も等しく形式のみ、渠等が心裡の面目は新たなるに非ず依然として舊時の如し、我統監政治は何故に此根本に斧鉞を下さゞりしや、伊藤公の思慮緻密なる何故に玆に想倒せざるや、此形式的弊害を以て意とするに足らずとせる乎、此弊を徹底に打破するの必要を感ぜざる乎、若し然りとすれば誤れるの甚しきものなり、

熟らく統監政治の實況を觀察すれば、形式的の弊を打破せざるのみならず、韓國現時の程度に不似合なる文明式の法令を制定せしめて之を施行せられむとす、さなきだに形式に流るゝ韓廷をして益々之に傾かしむるの觀なき能はざるなり、伊藤公由來形式的の政治家なりと聞けるも、豈夫韓國統治に此事なかるべしと信ずれども、事實は着々之に反するの傾向あるを如何せん、余輩は革新の業として形式的弊害を打破するの必要を感ずるなり、

然りと雖も今俄に余輩の所說する內部度支部の二省を存して他は悉く廢することを、現時の當局者に望むも到底之を斷ずるの勇なきを知る、故に全く獨立の部省を存置するの益なき學部と軍部とを廢することを勸告せむとす、軍部の如きは一の侍衞隊を監督するに止る、之は無論宮內府の一部に監督官を置けば可なり、一省を存して大臣以下多數の吏員を要せんや、學部は如何、四五の中學程度の學校、五十に足らざる小學校を監督するに一省を置くの必要なし、之は內部の一局に學務課を設れば充分なり、前途敎育の發展を期すると云ふか、然り之を期するに於ても內部の一局部にて事充分に足る、財政の不如意なる現狀に於て斯る他に併合して差支なき部省を存置するの必要何處にある、殊に內閣統一上に於ても少きを便宜とす、內閣の兎角統一せざるは閣臣の數多きにも因る、總ての方面に於て此二部を廢するを善しとす、餘裕少き財政を以て必要なきものを存する謂はれなし、如何に形式を貴ぶと雖も強て之を存置する理由なし、若し夫れ此二部だに廢する能はずとせば韓國前途の革新は到底望み得可らざるなり、

雜報

●觀察使への御沙汰

十五日漢城府尹並に各道觀察使參內拜謁の際左の御沙汰ありたり

朕惟ふに昨夏傳禪の聿を承け中興の業を紹ぎ廟社に誓告し臣僚を策勵して以て維新の國是を定め永く我祖宗の丕丕の基を確め友邦の謀忠に賴り先進の模楷を作り躬ら先んじて率先し奮發奮勵し荏苒一期せるも治は志と踐はず上下の情志も未だ孚かならずして中外の訛謠層生し民心の誤解迷向と國步の多端措からざるは今日の如きなし噫朕の不德が抑も事に任ずる者の失職か君の不能を言ふは豈人臣の分儀ならんや亦臣を責難するは寔に人主の不明なり現今發業の勢累卵も啻ならず惟ふに我君臣若し猛省惕慮して拯濟する所以を思はずんば必ず將に我祖宗の遺緒を荒隳し我祖宗の赤子を盡劉し我齊隣の厚誼に辜負し我東洋の大勢を潰裂せんとす懼れざる可けんや勉めざる可けんや噫爾觀察諸臣爾は朕が憂を分けて德缺せず哉民は惟れ邦の本なり本固ければ國寧し近民の官は惟ふに厥れ守宰の身其れ勗め率ひて朕が德威を宣べ朕が令申を布け基を亂すは詿誤に由る腳階は不信に生ず汝の仁愛を施せば誰か敢て化せざらん汝の威儀を正ふせば誰か敢て肅せざらん恩に懷き義を畏れ輯睦して業を安んぜば民斯に靖し爽大要斯の如し朕多く誥へず德缺せず哉

●宮內大臣の更迭

既報の如く宮內大臣は昨日依願免官となり特命を以て宮中顧問官に任せられ大臣の待遇を賜ふ事となり後任は侍從院卿閔丙奭任命せられ皇后大夫尹德榮侍從院卿となれり

●各觀察使謁見

十五日各觀察使は昌德宮に參內し熙政殿に於て皇帝に謁見せることは既報せしが其人名左の如し

京畿道觀察使	金思默
忠淸北道觀察使	權鳳洙
忠淸南道觀察使	崔廷德
全羅北道觀察使	李斗璜
全羅南道觀察使	申應熙
慶尙北道觀察使	朴重陽
慶尙南道觀察使	黃鐵
黃海道觀察使	趙羲聞
平安南道觀察使	李軫鎬
平安北道觀察使	柳赫魯
咸鏡南道觀察使	李範英
江原道觀察使	李在元
咸鏡北道觀察使	尹甲炳

●林野處分審查會に就て

本日の官報を以て國有森林山野處分審查會委員九名を命ぜられたるが同委員會は(一)國土保安上又は國有森林山野の經濟上國有保存の必要なき國有森林山野個所の決定(二)公益上特別の事由を生じたる場合に於ける國有保安林の解除(三)國有森林山野の隨意契約に依る賣却(四)國有森林山野の交換等の事項に就き審查決議するものにして其の會長は農商工部次官之れに當り農商工部大臣が以上列記の事項を處理せんとする場合先づ本會の決議を要するものとす而して審查會は以上の諸項に該當する問題の起りたる場合隨時會長の招集によりて開會せらるゝものなりと云ふ

●宮內府不動產貸下に就て

既報の如く帝室有財產は一旦之れを國有に編入して大々的整理に着手する事となりたるが其の結果帝室財產整理局も殘務の整理次第に廢廳することゝなるべく從て此迄取扱ひつゝありし不動產貸下の如きも懸案の儘徒らに時日を遲延する樣の成行きとなりては却て出願者の不利益となるべきを以て此の際は出願を見合す方寧ろ得策ならん又既に受理せしものと雖も中には調查上隨分複雜の手數と時日を要するもの尠からざるが此等の向は差當り之が處分を避け唯だ止むを得ざるもの又は現に調查中のものゝみを處理する方針なりと聞く

●未墾地貸付出願地調查

國有未墾地の貸付を出願したる場合當局者は一々實地に就き調查する事となり居るは既報の如くなるが右調查のため農商工部の福岡技手一行は平安南北道中の拾六郡(調查箇所五十)に又多田技手の一行は忠淸南道全羅南北道慶尙南道中の拾七郡(調查箇所四十七)へ向け不日出發する筈なり

●憲兵補助員服制

韓國憲兵補助員服制に就ては目下其筋に於て詮議中に屬し如何なるものを制定さるべきやは未定なるも大略左の如く定めらるべしと

一、帽は日本三十八年制下士以下のものに同じ但し鉢卷は茶褐色及上部喰出は緋絨前章は金色李花章とす

一、絨衣袴は日本三十八年制下士以下のものに同し但し肩章襟章衣の袖章を除く衣の膊部に赤色李花章を附着す

一、夏衣袴は日本三十八年制下士以下のものに同じ但し衣の右膊部に赤色李花章を附着す

一、外套は日本三十八年制下士以下のものに同じ但し袖章を除き右膊部に赤色李花章を附着す

●日韓の交通に就て

此程出京の統監府鐵道管理局運輸部長岡正矣氏日韓の交通に就き語て曰く如何にも母國に歸つて諸方面に話を試みますと朝鮮は餘程遠き外國と云ふ考が尙ほ腦裏を去らぬやうで私共から見て案外の考がします全く朝鮮は遠き處でないと云ふ事を簡單に申上ませう先づ下關釜山間の海峽は百二十浬で津輕海峽即ち青森函館間を二つ合せた丈けの距離に過ぎないです此海峽には壹岐丸對馬丸會下山丸薩摩丸と云ふ四艘の船が浮べてありまして十時間で渡れます釜山から京城迄の鐵道は二百七十五哩でこれも十時間で轉がつて行きます即ち下關と京城間は僅かに二十時間で行くとが出來ます韓國の汽車は廣軌式で車體も大きく座席も廣々として速度が早いのです試に母國日本の鐵道を縣道と假定しますれば關釜連絡船と釜山より京城を經て新義州に至る鐵道は國道若しくは世界道と云ふやうな譯であります東京よりの旅行時間を申せば札幌や鹿兒島に行くよりも京城の方が近いのです廣島から東京へ行くも京城に行くも略同じ道程でありますから內地の人々が朝鮮を遠い外國と思ふ念を去つて日韓間の交通が益々頻繁となりますならば啻に韓國鐵道の利益のみなら
ぬ事だらうと思ひます云々

●地稅問題破裂す

久しく紛擾の中にありし仁川地稅問題は一昨日午後六時を以て遂に破裂を見るに至れり其次第を報ぜんに地主派に於ては一昨日午前九時より本願寺別院に集會して民會に於て決議したる案件につき此れに應ずべきや否やにつき協議を凝したる結果同會の內部に硬軟兩派を生じ結局右案件に應じ難しといふもの多數に歸し此旨民團側に通知したるを以て民團に於ては既にかくあらんと期し居たる事とて直ちに督促令狀を發すべき旨を申渡したる次第なりと尙本問題に關し或隱れたる事件及今後の成行等は次號以下に報導する所あるべし

●(仁川)居留民大會

鐵道管理局が韓國全線を營業線に編入して以來極力其收益を得ん事を企て其結果京仁線の貨物運賃を格外に値上げして從來船便により仁川を經て各地に移送されたる貨物を釜山に吸收し京釜により京城に輸送し京城を中心として各地に轉送するの方針を執りつゝある爲め從來仁川を基點として集散せる貨物は漸次減退し今や輸入貨物の重要品は全部京釜線に吸引せられたる狀態に陷れり之れが挽回策につき商業會議所に於ては鐵道當局に交涉を重ね或は理事官の手を經て其筋に交涉する所ありたるも鐵道側に於ては飽迄右の方針を變更せざるに依り仁川の商權は徒らに鐵道の蹂躙に委する狀態にあるを以て仁川實業家の某々氏は止むを得ず居留民の輿論を喚起し飽迄鐵道の處置に對して反抗の態度を執るが爲めに近々居留民大會かさなくば鐵道反對大演說會を開く目的にて目下種々調查中なりといふ

●大同江浮標新設

大同江鎭南浦錨地附近の暗礁及び江口椒島の北方中洲南西端の淺灘の位置を示す爲め三個の浮標を碇置し鎭南浦錨地の東方に碇置せるものを東浮標と稱し西方にあるものを西浮標を稱し中洲の南西端に碇置せるものを中洲浮標と稱す而して浮標の構造は鐵造圓錐形にして東西兩浮標は紅黑横線に塗り中洲浮標は黑白横線に塗り頭に菱形目標を戴き水面上の高さ東浮標は七尺西浮標は五尺中洲浮標は十一尺なりと又其の位置は鎭南浦東浮標は大低潮時の水深二尋四分の一西浮標は一尋二分の一中洲浮標は二尋二分の一なりと云ふ

●西島燈臺閃光時間變更

大同江口椒島の西方西島燈臺燈光發射の時間は從來三十秒時間に一閃光を發する裝置なりし所每二十秒時間に變更されたり

●鑑定價格調查結了

日商側より陳情せし牛皮其他並に滿商側より申し出でたる支那絹反物類等の鑑定價格引下げの件は稅關當事者に於て實地調查中なりしが該

●關稅同盟に關する調查(續)

聯合會に於ける提案者の說明は要するに左の如くなりき

本案は日韓の關係明ならざる場合に在りては實行甚だ困難なりと雖も今日は日韓の關係將に確定せんとするの際なるを以て對韓經營の一式として加へられんことを希望するよりして提出したる問題なり然るに保護國に對し關稅同盟を締結せんとするは學者の批難を免れざるや否や知らずと雖も今日は日韓兩國の關係に於て日本は韓國を指導して之を實行せんとするに在るなり關稅は保護自國貿易政策に出づるものなりと雖も韓國の如きは何等の政策を意味するものにあらず然らば國庫の收入に歸す可きものなりやと云ふに一部は宮庭の收入に歸し一部は總稅務司の手に歸す而して日本品は最重要なるものなり故に恰も日韓人に特別の稅金を賦課するに均し今日は韓國は屬國同樣にして日本は列國に對し韓國に於ける政治上軍事上商業上の優越權を有するが故に此優越なる商權を得んとする希望に外ならず併し此問題の實行方法及び其程度等を具體的に言ひ現はすは困難なりと雖も今日に在りては希望案件として提出したる譯なり斯の如くして聯合會は希望案として可決確定したりき而して聯合會に於ては左の請願書を認めて外務大藏農商務の各大臣駐韓公使目賀田顧問に提出致候

日韓兩國關稅同盟締結の廉に付請願

今や日韓兩國の國際關係は保護者と被保護者との關係を來し韓國が軍事外交財政等各般の事項に關し我帝國の指導監督を受くべきことは兩國の間既に其協定を遂げ環視の列國も亦其正當と必要とを認め韓國に對する我保護權は玆に全く其確定を見るに至れり韓國既に亦帝國の保護に歸せり此に於ては其國土人民を啓發して之を文明の域に誘導するは我帝國の責務たると同時に其富源を開發して利權を扶植し以て兩國經濟の共通發達を計圖するは我政府官私人民の職分たらざるを得ず

利權を扶植して經濟の共通發達を計圖するの途は固より一にして足らざるも本會は兩國の間に關稅同盟を組織して通商貿易上の障壁を撤去するを以て最も緊切の方なりと信ず今日の兩國個々獨立の關稅政策を執りて相對峙するに於ては兩國間に於ける經濟關係を抑壓するのみならず延て全般の國際關係を疏遠ならしむるの結果を生ずるに至るべし之れ我帝國の不利に止まらず又た韓國の爲め策の得たるものにあらず(未完)

●仁川實業同志會

仁川實業同志會にては明十八日同地八坂樓に於て臨時總會を開き了つて園遊會を催す筈なるが同日は評議員補缺撰擧の件會長撰擧の件商取引に關する件商業會議所議員撰擧に關する件信用組合組織發行の件等を附議すべく來會者は會員三百餘名に達すべしと

●ベッセル事件の公判

三浦理事官の告訴に基きて一昨日より英國領事館內に開廷せられたるベッセル事件の公判は午前十時開廷し先づ訴訟手續並に公判に關する形式上の手續ありて後ベッセルの辯護人は陪審官の立會を請求したるも判事は之れを許可せず夫れより同辯護人は告訴人たる三浦理事官に對し理事官の權限及び日韓協約の意義並に日本政府の韓國政府に對する協約上の責任等に關し質問し且つ告訴狀に添付せる大韓每日申報の韓國各地に關し方に講讀せらるゝ紙數を示せる地圖に關し質問する所あり尙同新聞差押への理由手續並に韓國軍隊解散に關し聞く所あり三浦理事官及び證人として出廷せる通信監理局の服部事務官夫れ〳〵答辨して閉廷したるが當日は內外新聞記者官吏等數十名の傍聽者ありて外國人は本公判に向ふて大いに注目せる如し

●半數改撰と候補者

京城日本人商業會議所の半數改撰期は本月三十日擧行さるゝことは既記の如くにて其期日も漸く迫まらんとする昨今候補者の動靜を聞くに表面は未だ候補者として名乘りを揚げたるものなきも商議員中一二の人は斷念すべきも他は悉く色氣あるが如く各所に集會して專ら畫策しつゝあるが如く又た今日迄泥峴の元老株に讓り來りし少壯の人々も所謂泥峴閥に慊焉たるものありて昨年の半撰に於ても大に競爭したる如く今回の改撰に於ても新人物を出さんとの計畫をなし之又た畫策しつゝありと而して別項の如く六名の議員を增加することゝなりたれば現今平穩なるも期日の切迫するに從ひ活氣を帶び來るべし

●會議所議員增加

京城日本人商業會議所に於ては一昨日午後七時より四拾年度決算報告其他議員增加及び之れに伴ふ定款改正の件に付會議を開き六名を增加することに決したり

●大臣會議

昨日午後一時より統監邸に於て各大臣參集し大臣會議を開けり

●參與官會議

昨日午前十時統監府樓上に於て參與官會議を開けり

●烟草の獻上

大藏省煙草專賣局計理部長池袋秀太郎氏は官營烟草各種標本三匣を皇帝及び太皇帝に進獻されたり

●高法相の招宴

一昨夜日本人俱樂部に於ける高法相の招宴は午後六時より開會渡邊大審院長以下各法官警視總監同副總監警務局長法部高等官典獄一同市內法部所管官廳各高等官等八十餘名出席し大臣の挨拶に次いで渡邊大審院長來賓總代として謝辭を述べ宴に移り午後十時散會せしが頗る盛會なりき

●憲兵分隊と憲兵補助將校

各地に駐在せる憲兵六ヶ分隊には憲兵補助員韓國將校を一名宛配置し一般行政及討伐の敏活を計るやの計畫あり

●典獄の赴任

開廳準備會議のため法部に參集中なりし各典獄は既に會議終了せしを以て本日より各任地に向け出發すべし

●解散兵の應募

解散韓兵下士兵卒は今回の補助憲兵の設置を歡び補助員たらんことを希望するもの多數にして續々募集に應ぜんとする模樣ありと云ふ

公人私人

△寺田恒太郎(京城控訴院檢事) 一昨日着任
△小林勝正(辯護士) 一昨日釜山へ向へり
△黑澤隼(步兵中尉) 平壤に赴く
△鈴木茂六(騎兵中佐) 同上

●近事片々

▲宮內•府大臣李允用愈々辭任し兩三日內に後任者定らむと允用の辭任は一般の望也
▲允用•近來の暴慢は衆人の怨嗟する所府內は勿論府外の者皆渠を疾視せり先づ結搆
▲允用•の居る所必ず濁るとは誰やらの評攻擊の焦點となる自家の行動より來る愼よ
▲帝室•財產を國有に移すことに於て何か怪しき擧動ありしとの說あり夫或は然らむ
▲財に•穢きは渠の惡癖勢力を得たるときは必ず醜事を演ずと聞く老猾大膽は長所也
▲次官•更迭閣內部に木內農商工部に此更迭に就て當局者何等意味なしと斷るは怪し
▲木內•は農商工部の人岡は警務總長にて內部の人適材を適所に配せるのみとは笑止
▲嚮に•は適材を不適所に置たのか當時の事情を知る者は之を首肯せず呆け加減失笑
▲長谷•川大將愈征途に上らる將軍の威風堂々韓南の草賊を慴伏せしむる効大ならむ
▲討伐•軍の配備及討伐の狀況を實視せらる其鎭滅を速ならしむること期待すべき也
▲宇佐•川中將往き亦大將行く鎭滅の期遠からざらむ住留十萬の同胞は將に安堵せり
▲韓國•の貿易今に逆況本月も二百十五萬圓の輸入超過を視る財政當局の無能心細し
▲一月•以降殆ど八千餘万圓の輸入超過近時の物價下落は漸次之が超過を防ぎ得べし
▲西園•寺首相自邸に皈るや厭やだ〳〵と何時も口癖の樣に歎息せりと御尤も千萬也
▲陶庵•候胸中洒落現職に居ること苦痛なるべし唯原松田等に泣付かれ無據止るなり
▲甥某•左樣にお厭なら辭任なされてはと勸むれば御信任厚き爲に辭されずと答らる
▲陶庵•候元來政治家として執着力少なく勇往邁進の熱を欠く眞個太平の好宰相なり
▲文士•を集め俳優と語り風流韻事に日を送ることそ侯の性格に適せり誤て現職に就く
▲山縣•公井上侯芳川伯巳代次子寺內伯等は花屋敷に集合して何事か密議せりと云ふ
▲政界•の神經過敏なる今にも山縣系の內閣組織せられんと觀測する者あり前途如何
▲日本•橋實業家會に誰にても出來ることは何さの問題起る互に意見を吐く眞最中に
▲突如•として叫ぶ者あり誰にも出來ることは今の大藏大臣也と無能藏相を諷す痛快
▲醫界•の偉人コッホ博士東京に着せらる市民の歡迎盛也博士が最も日本贔負の人也

諷詩林

失題

風氣誰言最肅淸。宴安頻聽醉舞聲。官僚邸宅楊州似。翠袖紅裙聯手行。

昨紙自由の文峯とあるは「自由之峯」の誤植

●島燈臺局長歸任期 豫ねて西海岸の北…官吏及び法官典獄等一同撮影せり [illegible]
岡永太郎、同事務官長濱榮三の諸氏は國有森林山野處分審査會委員を命ぜられたり
任永柔郡守敍奏任官四等
成川郡守 朴箕錫
慈城郡守 尹象大
稷山郡守 金寅憲
●榮湖學會通常會 榮湖學會通常總會は一昨日午後三時無事閉會せり

●島登臺局長歸任期　豫ねて西海岸の北韓地方部視察中なりし島登臺局長は來る二十日歸任の筈なりと

●法部の紀念撮影　一昨日法部にては紀念のため同部廳舍の全部及び大臣以下高等官及び法官與獄等一同撮影せり

●●●●●●●度支部司税局長元應常、同司税局長鈴木、同書記官李度賀、農商工部山林局長崔相敦、同技師中村彥、同技師道家充之、書記官羅壽淵、同鄭岡永太郎、同事務官長崔榮三の諸氏は國有森林山野處分審査會委員を命せられたり

●韓官任免　十五日左の通り任免あり

任成川郡守敍奏任官四等　永柔郡守　朴容觀
任永柔郡守敍奏任官四等　成川郡守　朴[illegible]鎬
任中樞院副贊議敍奏任官四等　前[illegible]　殷[illegible]鶴
任道書記官敍奏任官一等　沼澤七郎
任警視敍奏任官四等　前副尉　馬駿永
依願免本官　[illegible]
稷山郡守　金亨憲
楚山郡守　李章遠
漢城裁判所判事　[illegible]
警視　高橋淺水
同　松下平助
同　泉研介

●榮湖學會通常會　榮湖學會通常會は去る十四日午後二時校洞本會内に於て開會出席會員は四十餘名にして副會長池錫[illegible]會長席に就き會計事務調査委員報告義捐金額報告等は重なる事項にして其他雜件に付て報告をなし午後三時無事閉會せり

雜報

●官吏本位の京城（三）

▲料理屋のお客樣

花月や掬翠や井門のお客樣は云ふ迄も無く官吏が其の七分以上を占めて居る、否な全部が官吏であると云つて差支無いと思ふ、尤も泥峴邊りの紳士で赴く者の無いでも無いが夫れも唯何かの政略の爲め赴くので、決して自分本位に赴くのでは無い、政客と云へば必ず其の相手が官吏である事は無論である、偶々官吏以外の者が若しも花月や掬翠や井門やにて『旦那はん〳〵』と大持てに持てる事があるとすれば夫れは必ず連れが官吏であるからでの事にて、決して其の人一人の持てる者で無い、然るに世の中には不思議な程自分の事に暗い連中があつて夫れが自分の色男であるから持てるんぢやなど〻澄ます人もあるとの事、自惚れの強い色男も此の位い顔の皮が千枚張りであれば實に結構だ、花月や掬翠にては泥峴紳士を稱して一概に薄ノロと稱して居る、夫れは偶々官吏のお伴（但し自らは奢ると稱へて居る）をして來てはいゝ氣に成つて妓の御機嫌を取つて居るからだ、然るに惡歴時には妓の方ではチャンと心得て居るから官吏以外の男には散々御機嫌を取らせて置いて、イザお開きになる前若し仲居からソッとの相談でもあると、マア〳〵と一口に言つて除ける、此のマアは即ち阿房な男とか鬪々しいとかの意を含んで居るので、夫れでも愍に拔目の無い手合ばかりだから、或る程度迄焦らせて置いて、其の後で枕金とか線香代とかをシタタカ吹き掛くる、恐らなると所謂我輩は何處の紳士ぞと意志によつても相談に乘る、すると浮氣は其の日の出來心とか何とか鼻歌もので關係を結ぶ、而して一般に遺歷なのを稱して毛色變りを取りましたと云つて居る、何の事は無い嫖妓共は官吏全體が誰れ彼れなしに其の情夫で官吏以外の者は全然毛唐か何かの樣に毛色異りと云つて居るのだ、併しこれには[illegible]の不思議があらうぞ、見玉や[illegible]等料理屋の其の多くの建物其多人數の鼻の下は悉く官吏のた際で維持して行くかは素より其の處であるべきだ、或る處の大きな旅館が其の娘が一夜の情けで立つたと云ふ話しがある、官吏は無論知らぬが此の多い官吏の持合になる自然主義俱樂部の五軒七軒あつた處で夫れに何の異狀があらう寧ろ未だ甚だ少きを憾むと云ふものだ、官吏本位の料理屋にあがつて得意になる男は馬鹿の骨頂だ、夫れに官吏を伴れて行く者は殆んど底拔けの大馬鹿だ、爰に一寸前記料理屋に於ける官吏の持て方を書いて見ると先づ仲が玄關に曳き付けらるゝと女將は無論仲居も下女も飲焚も樓の上下を擧つて「お出で遊ばせ」とばかり出迎ゆる、而して足も疊に觸れさせぬ程の大待遇、サンザめいてやんちやをお言ひ遊ばしてイザお開きになると最う玄關には仲の用意が出來て居る、女將を初め一同式臺にへたばつて「何號官舍樣お歸りイ」と宛で牛肉屋に於ける書生さんと同じに何號樣を用ひるが併し此方は官舍と云ふが附いて居るだけ言ふ可らざる尊敬の意が含まるゝのだ、軈て其の所謂何號官舍樣は微醉の眼を車の上にドロンケンにして葉卷の煙を悠々吹かして其處の門口を出らるゝ……まつた未だ皆なの者がへたばつて居る……にも係はらず獨り其の御贔屓の妓一人は立ち乍ら口の邊に優し想に手をやつて「旦那ようまつか」とやらかす、何號樣は唯首背く、斯くて車夫が轅を上げて門の外に出ると女將始め一同ホッと起ち上つて見送る、而して暫くすると其處の男衆は覺きの「ようれせまつか」裾を引捲れて其の何號官舍にコッソリ出掛るのである

●皇帝の畫像を隱くす

▲畫像卅二枚を押收す▼

長谷川町に居住する韓人朴泰源方に韓國皇帝陛下の畫像を隱匿する事を豫て警視廳に於て聞き込みたれば一昨日其管南部署に知照して該畫像押收方を命じたり去れば南部署に於ては巡査部長基氏を派し同警視廳第一課請通譯松元[illegible]を同行せしめ先づ佛國バラスホテル内に居住する獨逸人アルバートメーヤと云ふを先導として右柳泰源方に至り溫突内に隱しある右の畫像外卅二點の掛軸を押收したりと云ふ而して此の畫像は如何の要をなすものなるかと云ふに朴の母壽蓮（七十）は附近に聞こえたる巫子にて其の家には常に多くの畫像を藏し之を以て愚夫愚婦を迷はせ居りたる者にて既に此の壽蓮は昨年八月圖像隱匿の罪名にて警視廳に招引せられたることあり然るに拘引後朴の隣家に住む獨逸人コーシャルキーは自己の通譯朴に渡さんと云ふを從ね朴方に赴き汝の母は引致の身なれば今日斯る畫像を藏するは却て犯罪の證據となる恐れあり故に自分に預け置けよと言葉巧みに之を持ち歸りたるが其後本年舊正月中壽蓮は無罪放免の身となりて歸り來りたれば壽蓮はコーシャルキーに返還方を迫りたるもコーシャルキーは言を曖昧にして之を還へさゞりしも何分壽蓮の催促嚴しく五月頃きを以て一昨夜に至り返還したり而して其翌朝遂に前記の如く基部長の爲めに押收せらるゝに至れるなりと尚右の畫像は何れも見事なる者にて外人など之を得んとするも決して所以なしとせずとの事なり

●婦女誘拐の惡漢

△亂暴極まる誘拐▽
△遊興の後に欺く▽

熊本縣阿蘇郡生れ井下継次（五十）及び中原傳吉、太平松吉の三名は目下江原道春川地方に居住する者なるが前記三名は先頃より京城に來り南署黃金町前原宇三郎方に宿泊し市内各所の飲食店に赴き婦女を誘拐したる事實を此の程遂に其の筋の知る處となり目下取調中に屬するが今彼等が其の誘拐したる事實と云ふに去る五月廿二日夜前記三名は石井洞玉水亭事渡邊鐵三方に赴き充分遊興したる後ち一寸女を貸し呉れよとて其の身代を支拂ひ二人を連れて外出したる儘前原方に連れ行き尚其の翌廿三日夜太平、中原兩名は小公洞水月事池田峰吉方に赴き例に依つて遊興したる後ち大坂生れ頭山スギ（三十）と云ふを誘拐し一方井下は明治町三丁目三桝屋事林ミヤ方に赴き同家の酌婦岐阜縣生れ石田ユキ（十七）を強て前原方に連れ行き同夜半出發して東大門外二里の地に宿泊し其の翌日春川に連れ行きたり尚右の手段を以て本町七八丁目邊より二三名を誘拐したりと謂ふが彼等は飲食店より婦女を連れ出すや先づ前原方に至り種々の甘言を以て欺き若し應ぜざれば斬るの殺すのと脅迫するを以て既に一度び墮落したる婦女は無論何地に在りて稼ぐも同じとの觀念より多くは其の意に隨ふなりと而うして彼等惡漢は何れも自己の罪跡を蔽はんが爲めに巧みに委任狀を作製せしめ居れりとの事なり

●早合點の亂暴　旭町四丁目眞下大吉方高橋榮吉（二）は一昨日午後十二時前本通裏の蝎甫屋を冷やかし居りたるに何者か榮吉に向ひ石を投げつけたる者あるより已れ何奴ぞと追跡し倉洞派出所前に至り其處の商店にて鞋を買ひ居りたる韓人を捕ね已れ何故石を投げたるかと散々ばら毆打したるに此の韓人は素と斯かる覺え無きに毆られたる口惜しさに派出所に訴へ出でたる爲め巡査出張榮吉を取捕ねたるが榮吉は非常に酩酊し居りたる爲め嚴戒を加へて放たる

●千三百圓の拐帶　本町五丁目山根吳服店方雇人中田井幸太郎は、昨日午前中主人の命に依り金三百五十圓を預け入れの爲め五十八銀行支店に赴きたるに其儘預入れを爲さず且つ金一千圓を引出して拐帶し

●五厘持參の遊興　山口縣生れ當時京城日の出町に住む石工業藤井忠殿は一昨夜谷川町二丁目飲食店○○亭北村ハル方に於て一圓七十錢の遊興をなしたるも懷中僅かに五厘を携ゆるのみにては如何な勘定も濟まされず遂に警察沙汰となり遊興費だけは自宅より取寄せて支拂ひたり

●主人の金を盜む　壽町二丁目建築請負業野田傳太郎方雇人宇高喜一は昨朝未明主人の洋服に入れありし金十五圓餘を竊取して其儘逃走したり

●貰つた者を盜む　新町三丁目松尾政太郎と云ふは同所派出所前にて濟國人廬水下に一昨日之れを二十五圓にて馬齡薯を耕作し賣却する契約をなし即時十五圓を受取り作らせ其の夜右の馬齡薯を大半竊取し知らぬ顔をして居りしを遂に廬の知る處となり其旨派出所に訴へ出でたれば兩人共引致されて目下其情詳細取調中

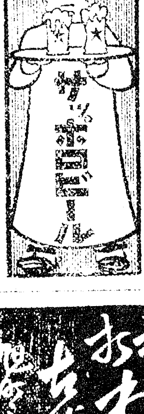
●盜難　十四日午後三時三十分大坪坊上席洞三十五統二戶朴景雲は自宅に置きありし物品十三點價格十六圓程を何者にか竊取され其筋に屆け出でたり

●俗調●

思ひ〳〵の思ひを遂て
渡韓以來の此苦勞
姉と妹とが發し罷
まゆの光澤までまされらい
角を隱した日ざしの髮が
とけりや尾が出る角がでる

●本町座藝題　同座本日の藝題は黑法師作「鬼士官」七まくにして役割は左の如し
熊田軍醫、磯部武太夫（石卷韶馬）内務省書記官磯部六郎（稻村文夫）紳士田川一郎（葉山光夫）藝妓若吉（濱日出男）村田母稀子（尾崎茂）松村海軍少佐（小泉賢祐）海軍中將鳥海輝彥（青山太郎）弟磯部一夫（秋山三郎）鳥海智惠子（坂本雪夫）鳥海磯子（杉亭志夫）鬼士官海軍少尉村田一郎（峯松信夫）

（平）（民）
記者さんお願ひですから私しの作つた小説を貴紙の餘白に載せて下さい（火星女史）
（文）（壇）
見せなさい見た上で佳作とあらばけます（係り）▲郵便局の近所の藥屋の小[illegible]カラきん頭は高いが鼻は低いね（子守）▲水道が出來たら一荷何んぼでせう（巡査の家内）▲南大門郵便局のお役人さまの威張り方は非常だマルで役所へ行くと叱られにくゝやうだ（今に見ろ生）▲南大門驛前の待合室は何時も盛んなものだ殊に近頃は[illegible]



（心配生）▲貴社の新聞は大層配達が早くつてヨまるで夕刊と變らないソレに配達の方が心切で（官舍の下女）▲僕は鮮が喰ひたいが何んとかロへ這入る工風はあるまいかね（江戶ッ子）▲新町は近頃不景氣だそうだが那んな所は不景氣でも構はない（懲り〳〵生）▲○○亭のおつるさん脈やならイヤさ返事し玉へ（忠告生）

●天氣豫報（自十六日午後六時至十七日午後六時）
南の風曇後晴
●十六日午前六時各地氣象概況
南又は西の風吹き南部は晴天北部は曇天なり

廣告

西の宮た樂の述懷（十五）

◎三年越の仇討

小僧さんを前に置て何んでも長い間理をいつて聞かせますと矢ツ張り「ハイ〳〵」と柔順に返事はして居りますもの丶段々と力抜けがして來た樣子で果は涙ぐんで參りましたソレが目に這入ると私も妙な氣になつて來て何だか可哀相になり厭な事を聞かせるのはイツソ廢しに仕樣とも思ひましたがトウ〳〵仕舞には遊びに來る事を斷つて了ひましたすると小僧さんは目の縁を眞つ赤にして歸つて往つた儘其の後姿を見せないやうになりましたが考へて見ると隨分罪な事をしたもんでムいます、斯んな我儘を働き出しましたのは鶴澤を出てからでムいました出ると言へば鶴澤を出る時にはチット許りゴタ〳〵がありました私は二年の年期を首尾宜く勤め上げましたから「如何も長々御厄介になりましたデは今日から暇を頂きます」といふので喜一さん夫婦の前に改めて挨拶を致しますと女將のおくにさんが「お前さんも此れ程迄に賣り込んだものだから今少し稼いで見ちやア什麼だ年期を増すお金は相談の上で決して惡いやうには仕ないから何ならソウと極めてお呉れでないかお前さんが其の氣で働いて呉れると私んとこでもドンなに助かるか知れアしない……」私が賣れて來たのを見て取つた女將は無理にも引き止めやうと掛りました此れが當世の御主人から言はれますならナンでムいますがソコは私にだつて人情がムいますからお禮奉公の氣になつても働いてやらうといふ考へが出ないでもありませんが始めて東京から着いた晩の夫婦喧嘩一件が胸く神經に障つてヱ丶三年越口惜しい〳〵で持ち切り「今に見返へしてやるから」といふツマリ其の反抗心があつて賣り出しましたのですからおくにさんの此の相談には無論乘る氣はありません併しそうスゲなく斷るさいふ事も出來ませんから「道樂ものをソウ迄思つて下さるといふのは誠に有り難いお噺でムいますからソリャもうた言葉に從つてもう少し御厄介になつても宜いのでムいますが私も御覧の通り年も喰つて參つて來ましたから只今迄のやうに丸抱ねではチトチ……分にでもして置いて下さるといふのなら夫りやア又れ噺合によつて……」と申しますとおくにさんは持前の癇癪を頭に現はし眉根をピク〳〵させて「イヽヱ子私んとこでは例へ百兩百貫にならうとも分の藝妓は置かないことに極めてあるんです……少し許り賣れて來たと思つて厭にお高くとまるやうな藝妓は私達の手にはたねないから一出て往くなら勝手に出て往くが宜い」と癇癪ながら主人といふ權柄を笠に着てカミ付くのです此方は此れが却つて思ふ壺といふので「夫れならば致し方がありませんから暇を頂く事にしませう」とキッパリ申しました（つゞく）



